

**授業概要**

本講義では経営組織論の基礎を修得する。経営組織論を理解するためには、経営学総論、経営管理論を履修しておくことが望ましい。経営組織論は、いかなる組織に所属する場合でも応用可能な理論である。

経営組織に関する研究は、経営学のみならず経済学、社会学等多くの分野に近接する学問領域であるので、多角的な視野から講義のテーマにアプローチする。

学んだ知識をもとに日本経済新聞や経営関連誌を自主的に読み進めることは、経営組織論を効果的に修得する秘訣であり、講師は強くこれを奨励する。

**授業計画**

第1回	ガイダンス —経営組織の意義(1)—
第2回	経営組織の意義(2) —市場・環境との関わり—
第3回	経営組織論の系譜(1) —古典的組織論から近代的組織論—
第4回	経営組織論の系譜(2) —適応的組織論から社会的組織論—
第5回	経営組織の体系 —構成と機能—
第6回	経営組織の基本形態(1) —組織構造の概念—
第7回	経営組織の基本形態(2) —職能別組織と事業部制組織—
第8回	経営組織の環境適応 —環境変化と組織構造—
第9回	経営組織と人間行動(1) —個性とモチベーション—
第10回	経営組織と人間行動(2) —学習と協調—
第11回	経営組織の文化 —組織文化の意義と機能—
第12回	経営組織の変革 —組織変革と開発—
第13回	経営組織間の関係(1) —意義と理論的枠組み—
第14回	経営組織間の関係(2) —戦略と革新—
第15回	経営組織論の課題 —統治・倫理・組織形態—
第16回	期末試験

**到達目標**

本講義の到達目標は、受講生が経営組織論の基礎知識を身につけることである。将来、受講生が企業をはじめとする組織に属し、与えられた役割を果たすにあたって、本講義で学んだ知識を生かし、客観的に自身を位置付けて組織内で自立と共生を実現できれば望ましい。

**履修上の注意**

講義形式で行う。冒頭で前回講義の内容を振り返ることにより、連続性を重視して説明を行う。講義中で過去に配付したプリントを引用して説明することがあるので、同一テーマの講義に関しては過去の配付資料を持参することが望ましい。講義中の私語、携帯電話の使用は厳禁とする。

**予習・復習**

講義は、配付するプリントに含まれるパワーポイントに沿って、図表や資料を用いて進めるので、前もって資料を配付した場合は、あらかじめ眼を通しておくと効果的である。復習としては、配付したプリントと講義中のメモに目を通すとともに、学んだ知識をもとに日本経済新聞や経営関連誌を読み進めることが効果的である。

**評価方法**

期末に実施する論述試験を70%、理解度テストの結果を30%加味して評価する。出題の意図を理解し、講義で説明した内容を踏まえて論理的に解答しているかどうか重点を置いて評価する。

**テキスト**

教科書は使用せず、提供する資料をテキストとする。参考文献は各講義で明示する。